

# 育桜会だより 第118号



## 目次

- ・陶芸教室（文化体育部）
- ・近附P連報告
- ・三附属交流会
- ・育桜会 活動報告
- ・少年院見学会
- ・立哨指導の報告（生活安全部）
- ・編集後記

2023年12月22日発行：奈良教育大学附属中学校育桜会（編集 広報部）



## 陶芸教室「ろくろを使った手びねり陶芸」 ～大塩正史先生をお招きして～



熱心に作陶！みなさん真剣です

2023年11月28日に文化体育部主催の陶芸教室が中学校美術室で行われました。保護者30名と開催協力の評議員5名が参加し、大塩正史陶房の大塩正史氏を講師に招いての開催となりました。大塩氏は遠州七窯の一つである赤膚焼の陶芸家として知られています。

参加者は数名ずつの小グループに分かれ、ろくろを使った陶器制作に挑戦しました。作業が始まるとすぐ場が活気づき、参加者同士が作品を見せ合いながら制作を楽しむひとときを過ごしました。大塩氏のやさしく丁寧な指導のもと、予定の2時間はあっという間に過ぎていきました。

文化体育部の担当者は、『教室開催後のアンケートでは、参加者全員から次回のイベントにぜひ参加したいとの回答をいただき嬉しいです。来年度のイベントに対しては、奈良の伝統文化やドライリース、置物の制作などの提案があり、学年やクラスを超えた保護者の交流の場として定着することを期待します』とコメントを寄せています。

制作した作品は、焼成を経て後日参加者の手元へ郵送されます。

## 「学ぶことは生きること」

～近畿国立大学附属学校PTA連合会秋季交流会レポート～

近畿国立大学附属学校PTA連合会秋季交流会が大阪教育大学天王寺キャンパスで開催され、NPO法人ルワンダの教育を考える会代表・永遠瑠（とわり）・マリールイズ氏による講演及び情報交換会が行われました。

講演では、1994年ルワンダ大虐殺とジェノサイドに際し、マリールイズ氏が経験した内戦からの逃避行や難民キャンプでの生存に関する緊迫した様子を聞きました。壮絶な体験についてのお話でしたが、マリールイズ氏の語り口はユーモアにあふれ、参加者は話者の温かい人柄を感じながら熱心に聞き入っていました。

特に、「落ち着いて学べる場があるのは当たり前ではない。学んだことは、財産です。色んな人と出会うことでそれまでとは違う新しい自分に生まれ変わります」との言葉が印象的でした。

これからもこうした多様な学びと交流の場を通じて、新しい発見と成長が広がっていくことを期待しています。（育桜会 本部役員）



↑永遠瑠・マリールイズ氏

# ～三附属交流会～

## 奈良教育大学のかつての面影をたずねて

2023年10月26日、奈良教育大学附属学校園PTA協議会「三附属交流会」が、奈良教育大学および同附属小学校で開催されました。

イベントでは奈良教育大学の貴重な歴史的な遺構をテーマに、特任教授である谷口義昭先生によるミニ講座と、学校構内に残るかつての日本軍施設や米軍管理下での様子を実際に見学するフィールドツアー、およびランチミーティングが実施されました。参加者は56名で、歴史への理解を深めながら新たな発見と交流を楽しむひとときを過ごしました。

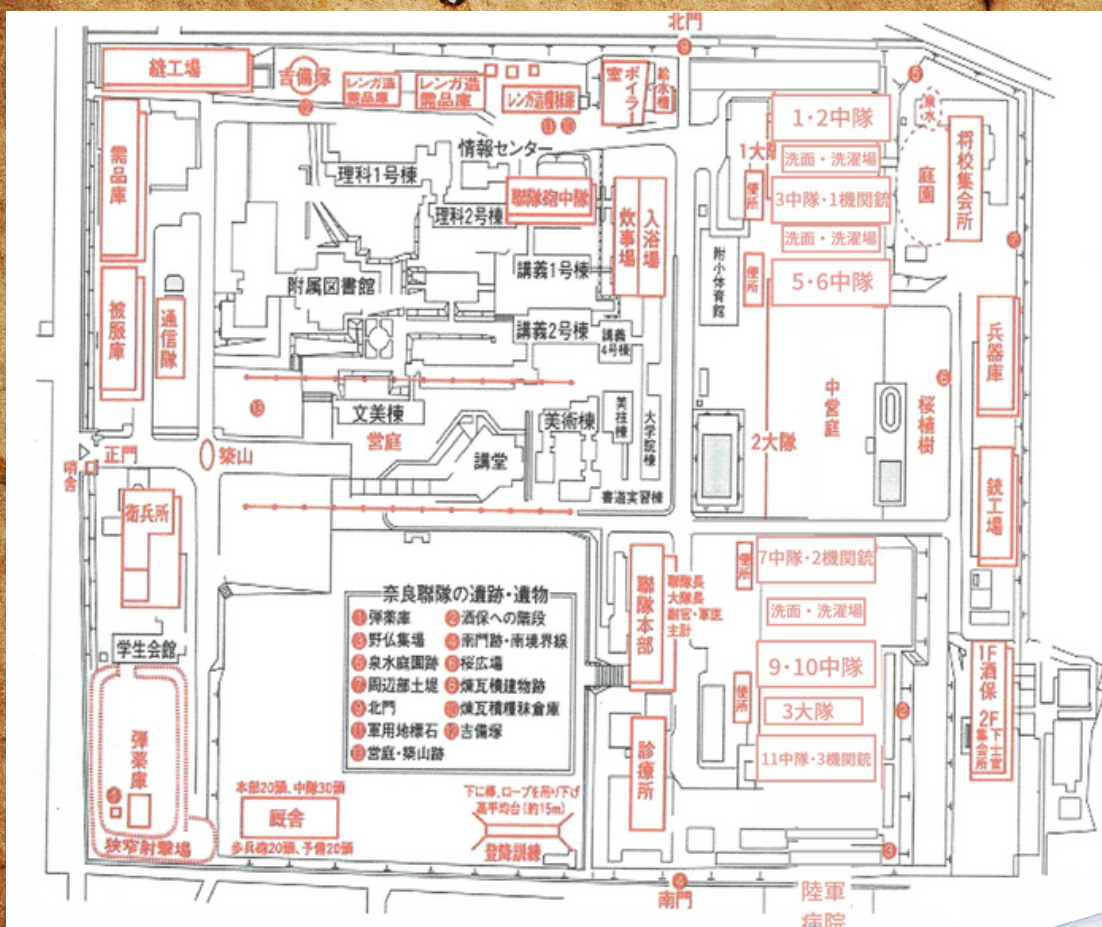
ランチミーティングでは、「大学敷地が奈良の文化的な遺産であり、同時に戦争遺構であることを学び、歴史を残す大切さを実感しました」、「附属小の子どもたちが3年生の授業でこの歴史を学んでいることを知り、家庭で感想を共有したいと思いました」など活発な意見交流が行われました。

主催者は、「子どもたちが在籍する学校園でしか得られない貴重な体験なので、ぜひ多くの方に知って、感じてほしい。イベントを通じて、学校や保護者のコミュニケーションが一層深まり、学びの場が広がっていくことを願っています」とコメントしています。



↑谷口先生のミニ講義

建物の歴史を感じます↓



当日配布された  
高畑の大学構内図、  
赤字が昔の設備です！  
さあタイムスリップしてみましょう



奈教 今昔マップ

# 奈良少年院見学会

理解と感動が広まる1日



育桜会本部主催の奈良少年院見学会が2023年11月9日に開催され、14名の保護者が参加しました。

職員による少年院概況説明の後、清潔な建物と生活空間、木工・陶芸作業場と作品群、プール、少年たちが自ら育てている野菜農園などを順次巡り、説明を受けながら見学しました。

参加者からは「暗いイメージを持っていたが、実際には学生寮のような明るい施設でodoroit」「育児体験など、子どもたちのことを考えた取り組みが興味深かった」「施設内の様子や職員の温かいサポートに触れ、感心した」という声が聞かれました。

少年らの現在と未来を真摯に考える施設の取り組みを知り、理解を深めるよい機会となりました。

## 育桜会 活動報告

| 日付            | 内容                                      |
|---------------|-----------------------------------------|
| 9月29日<br>-30日 | 全附P連PTA研修会<br>/第14回全国大会（東京）             |
| 10月3日         | 第3回三附属役員会<br>第7回近附P連実活委員会<br>（奈良教育大附属小） |
| 10月26日        | 第3回三附属交流会（附小）                           |
| 11月9日         | 奈良少年院見学会                                |
| 11月17日        | 第8回近附P連実活委員会（附小）                        |
| 11月25日        | 近附P連秋季会長会・交流事業<br>（大阪教育大天王寺キャンパス）       |
| 12月8日         | 学長への要望書提出                               |
| 12月15日        | 学長懇談会                                   |
| 3月20日         | 会長杯球技大会（予定）                             |

## 立哨指導で安全な下校をサポートしよう ー生活安全部よりー

生活安全部では10月18日の水曜日の一斉下校日に、生活安全部員9名と教員がコンビニ前交差点、神社前、プール横の3カ所で立哨指導を実施しました。

一斉下校日は、生徒たちが仲の良い友達と一緒に下校する様子が多くみられます。そのため、この日の立哨指導では、『下校時のルールが守られているか』『どのような様子で下校しているか』に特に注意して見守りました。

生徒たちは生活安全部員の挨拶に素直に応じてくれ、とてもよい印象でした。一方で、通行車のスピードは意外に速く、特に神社周辺などの道幅の狭い場所で生徒との接触が懸念されました。生徒たちには敷設されたグリーンベルトの内側を歩くほか、視界の悪い雨の日などは往来する車に特に気を付けてほしいと感じました。

来る寒い季節には道路の凍結などにも留意が必要です。生徒たちには安全を最優先にし登下校に際して時間と心に余裕をもって行動するように、ご家庭でお声掛けください。学校と生徒、保護者が協力して安全で快適な学校生活を築くために、引き続きのご協力をお願いいたします。



## 編集後記

○デジタル配信での広報誌に関わることに初めは不安もありましたが、他の広報部の方々と一緒に作成し、楽しくできました。これからも行事や学校生活の様子やPTAの取り組みについて、分かりやすくお伝えできればと思います。

○この二学期はコロナ禍で実施できていなかった芸術鑑賞会、煌星祭が開催されました。子どもたちのがんばりや楽しそうに活動する様子を近くで見ることができて嬉しかったです。

○今号では広報誌制作に生成AIをテスト活用し作業効率化を図りました。生成AIに各部署からいただいた取材内容を入力して指示すると、数秒で文章ができあがります。ただし、そのままでは親しみづらい文章のため、広報部担当者で力を合わせ、文を修正し読みやすく気持ちが伝わる記事になるよう工夫しました。また、LINEと記事作成クラウドを活用し、各人忙しい中でもみんなで一緒に作業に取り組めたように思います！

○ご協力いただいた、先生方や保護者の皆様、取材協力の各部署ご担当者さま、本当にありがとうございました。

